

「子どもの生活実態調査 2022」について

東京都立大学子ども・若者貧困研究センターが学術研究として実施する「子どもの生活実態調査 2022」への協力依頼があり、本区の子どもと保護者に対するアンケート調査を実施する。

(1) 調査目的

コロナ禍が親の就労状況等に多大な変化をもたらしたことを踏まえ、コロナ前後を比較できるデータを用いて、コロナ禍の子ども・子育て世帯への影響を把握する。

(2) 調査実施主体及び豊島区の協力内容

① 実施主体

東京都立大学 子ども・若者貧困研究センター（文部科学省助成事業）

② 豊島区の協力内容

調査対象者への調査票の配布、HP への掲載等

(3) 豊島区を調査対象とする理由

2016 年に東京都から委託を受けた東京都立大が、今回同様の内容で調査を実施し、豊島区も調査協力の依頼を受け調査をしていることから、コロナ前後の比較をすることができるという理由で豊島区が調査対象に選ばれた。

(4) 調査対象者及び調査方法

豊島区在住の小学 5 年生、中学 2 年生、高校 2 年生年齢の子どもとその保護者に対し、調査票を配布し、郵送又はインターネットで回答する

(5) 調査実施時期

令和 5 年 1 月 26 日～2 月 13 日で実施

(6) 他自治体の状況

中野区、墨田区が実施

(7) 調査結果の活用

令和 5 年度に策定作業を開始する次期「豊島区子ども・若者総合計画（令和 7～11 年）」策定の参考とする。